



Think Next Security



1.26
1ドア2ロックの日

1月26日は「1ドア2ロックの日」

1.26

1ドア2ロックの日



美和ロック株式会社（本社・東京都港区芝、代表取締役社長・和氣英雄）は、住宅の玄関ドアや勝手口のドアに補助錠を設置して防犯強度を高める「1ドア2ロック」の認知獲得と意識向上を目的に、1月26日を「1ドア2ロックの日」と制定し、日本記念日協会に認定されました。

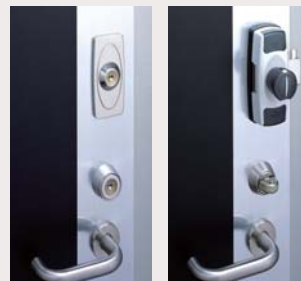
この制定を機に、今後も高品質な製品をご提供するだけでなく、防犯意識の向上と理解促進のための情報発信をより積極的に行い、啓発活動を強化していきます。

「1ドア2ロックの日」記念日概要

- 記念日名 1ドア2ロックの日
- 記念日の日付 1月26日
- 申請者 美和ロック株式会社
- 記念日の由来 1月26日は「1つのドアに2つの6（ロック）」と読めることから

既存ドアに後付け！ 「補助錠」で防犯強度アップ

防犯対策の基本は、建物の開口部に防犯性能の高い建物部品（CP製品）を設置することです。なかでも、住宅の既存の玄関ドアに後付けできる「補助錠」は、確実に防犯強度を高める身近なアイテムです。



既存のドアに補助錠を取り付けて
1ドア2ロックに

Q どんなロックを選べばいいのでしょうか？

A 1ドア2ロックは防犯対策に必要不可欠ですが、単に「ロックが2つ」付いていればよいのではなく、2つめのロックには、現在の侵入手口に対応した防犯性の高いCP認定の補助錠をお勧めします。これは侵入までに5分以上を要する「防犯性能の高い建物部品」の共通商標で、警察庁・国土交通省・経済産業省および建物部品関連団体が設置した「官民合同会議」による厳しい防犯性能試験をクリアした製品だけが、このCPマークを表示できます。

Q なぜ1つのドアに2つのロックが必要なのですか？

A シリンダー（カギ穴）を交換するだけでも、ピッキングに対する防犯レベルは向上しますが、最近多発している空き巣の手口である、パールでのこじ開けや、サムターン回し、カム送り解錠などには対抗できません。1つのドアに2つの錠前を取り付ける1ドア2ロックは、不正侵入の手間が倍になり、確実に防犯レベルをアップさせるという観点から、警察庁はもちろん、国土交通省が平成13年に打ち出した「防犯設計指針」でも推奨されています。



ND2R-BL シリーズ



ND2F-BL シリーズ

● **防犯ワンポイント** 美和ロックでは、最新の防犯基準をクリアしたCP認定製品を販売。10分以上の不正解錠にも耐えるピッキング性能とカギ穴壊し性能を有し、鎌デッドや強化されたデッドボルトにより、パール攻撃などの暴力破壊行為にも耐える、高い防犯性能を発揮します。



● **防犯ワンポイント** 泥棒が侵入する際、その手間に5分かかると約7割はあきらめ、10分以上かかるとほとんどの泥棒があきらめるといわれています*。防犯対策のポイントは、侵入に時間をかけさせること。これが、泥棒に入られるかどうかの分かれ目になります。



*警察庁HP「住まいる防犯」より

ワンドア・ツーロックで守る！ わが家の安心・安全！

すぐにできる確かな防犯対策は、玄関ドアに「補助錠」を取り付けて「ワンドア・ツーロック」にすることです。まずはプロに相談・依頼して、正しく補助錠を設置してもらうようにオススメします。補助錠を取り付けるのにかかる費用が、「高いのではないだろうか？」とためらうより、タウンページやインターネットなどで錠前のサービス店を調べて、問い合わせてみましょう。また、錠前メーカーのお客さま相談室やホームページなどでもサービス店を紹介してくれるので安心です。

ドアの材質や取り付ける錠前の種類により、1万数千円から数万円までとさまざまですが、仮に補助錠ひとつに3万円かかるとして考えてみると、向こう5年間使用する場合、一日に換算するとわずか16円弱になります。もちろん長く使うほどさらに安くなります。毎日、缶飲料を1本買うより断然安く、しかも安全になれるのですから、住まいの危機管理としてだけでなく、コストパフォーマンスという点からも理想的だといえるでしょう。

安全経費は必要経費。家族の命と財産を侵入者から守る「ワンドア・ツーロック」で、安全も安心もレベルアップ！

ピッキングだけではない！ 進化する空き巣手口

近年、空き巣被害は巧妙化、悪質化の一途をたどり、その手口は日々進化し続けています。ピッキングによる侵入犯罪は減少しましたが、加工した針金などの解錠道具でサムターンを回す特異な侵入方法や、ボールでこじ破る等の侵入犯罪も相変わらず発生しており、泥棒が侵入方法を常に研究して弱い箇所を狙ってきていることが伺えます。

現在、取り付けられている錠前が、今発生している侵入手口に対応しているのか検証してみると、不安に感じる方が多いのではないのでしょうか。「セキュリティにお金をかけるべきだ」「安全はただではない、買う時代だ」とわれています。しかし具体的に、どこにお金をかければよいのか、どの錠前を選んで取り付けるのがベストであるかなど、正しい情報を得て、確かな対応をすることが求められています。錠前はあなたとあなたの大切な家族を守る「防犯の要」ですから、鍵の取り付けや交換の依頼は街の信頼できる鍵屋さん、美和ロックサービス代行店に相談してみるのも良いでしょう。プロの適切なアドバイスを受けて、取り付け場所、環境、犯罪の発生状況を検討し、目的に応じた防犯性能の高い錠前を選択して、確実に取り付けることが重要です。



安全生活アドバイザー
佐伯幸子氏

92年より「頭を使って身を守る方法～知的護身術」を提唱。子どもや女性の安全対策を中心に、暮らしの中のあらゆる場面での危険を指摘、排除する方法を分かりやすく解説。危機管理のスペシャリストとして、講演やTV出演をこなす一方、著書9冊の執筆など精力的に活動している。



防犯アドバイザー
富田俊彦氏

(社)日本防犯設備協会 特別講師。通算26年間警視庁刑事部捜査第三課において、窃盗事件捜査に従事。特に、被害現場に臨場して、侵入手口の分析、同一手口事件の把握などの手口捜査を担当する。現在は(社)日本防犯設備協会の特別講師として、防犯のための講演を全国で行っている。